

令和7年度学校評価報告書

令和8年（2026年）3月23日

北海道教育委員会教育長 様

北海道釧路東高等学校長 汐川 裕彦

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

○ 様々な教育活動や生徒との関わりを通して、自分の良さや課題に気づかせ、自身の成長に向かって前向き且つ真剣に取り組ませる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

| 評価項目 | 自己評価の結果 | 学校関係者評価の結果 |
|------------|--|---|
| 学習指導 | ・学習指導において、学びに向かう姿勢の醸成や基礎学力の向上について改善の余地がある。 | ・学習指導改善の方向性について一定の評価を得られている。 |
| 改善方策 | ・指導項目を精選し統一した方針を立て全教員で実施する。 ・B Sの改善、テーマ別教科横断授業などを通して学習意欲を喚起し基礎学力の定着を図る。 ・学習状況の把握を通して改善事項を見出し、学びに向かう方策について研究する。 | |
| 生徒指導 | ・生活習慣や生活態度の育成の面で課題意識を持っている。 ・いじめ防止の取組は全教職員の共通理解のもと迅速な対応を持続的に実行できた。 | ・教職員が改善意識を持ち、粘り強く教育活動に取り組んでいることについて一定の評価を得られている。 |
| 改善方策 | ・特別活動やボランティア活動、SSTなどを通して、道徳心や社会性を育成する。 ・校内における制服着用を徹底することを統一指導項目に据え、全教職員で実施する。 ・生徒の情報収集と報告・連絡・相談を徹底し、早期にトラブルの芽を摘む。 | |
| 進路指導 | ・3学年において高い進路意識を醸成することができ、多くの生徒が積極的に進路活動に取り組んだ。 ・先を見通す力の育成と進路目標の早期確立が進路指導改善における重要な要素と捉えている。 | ・進路について関心の低い生徒へのアプローチの仕方や低学年からの社会性を身に付けさせることについて指摘をいただいている。 |
| 改善方策 | ・先を見通す力の育成を念頭に置き、進路行事について事前、事後学習を含めた充実を図る。 ・インターンシップや学校企業説明会などへの参加を通して早期に進路目標を立て実現に向けた活動を後押しする。 | |
| 健康・安全指導 | ・1日防災学校の実施や防災をテーマにした教科横断学習を実施し、生徒の防災意識の向上に一定の効果があつたものと捉えている。 ・生徒の美化意識の向上が課題である。 | ・釧路町や自衛隊など地域と連携した防災の取組について評価をいただいている。 |
| 改善方策 | ・授業や保健だよりなどを通して継続的に健康管理について喚起する。 ・整理・整頓・清潔・清掃を継続的に呼び掛け校内美化を通して生徒の精神的な安定を図る。 ・授業や避難訓練、1日防災学校、防犯教室などを通して継続的に危機意識の醸成を図る。 | |
| 信頼される学校づくり | ・教職員のコンプライアンス意識は高い状態を維持できた。 ・情報発信において工夫・改善の余地がある。 | ・地域探究学習など地域と連携した学習の取組について一定の評価を得られている。 ・学生募集を意識した情報発信について指摘をいただいている。 |
| 改善方策 | ・引き続き、日頃から研修や情報提供を行いコンプライアンス意識の向上を図る。 ・ホームページに加え、SNSを用いた情報発信を試みる。 ・学校行事や地域探究学習、ボランティア活動の充実に協力をいただき、教育活動の活性化を図る。 | |
| 組織運営 | ・教職員が協働して業務にあたることのできた。 ・校務D Xの整備や休暇をとりやすい環境を構築し時間外勤務の縮減を図った。 | ・組織運営について一定の評価を得られている。 ・スクール・ミッションについてより具体性を求める意見をいただいている。 |
| 改善方策 | ・スクール・ミッションを日々の教育活動に関連付けていくように全教職員で共通理解を図る。 ・互いにコミュニケーションを取りやすい風通しの良い職場環境の構築に努める。 ・引き続き校務のDX化を進め省力化を図るとともに、休暇や振替を取りやすい環境づくりに努める。 | |

| | | |
|--------------|--|---|
| 教職員の 資質向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者の対応において、報告・連絡・相談を徹底し組織的な対応を迅速に実行することができた。 ・日常の課題解決や研修を通して教職員の力量向上を達成できた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上について、一定の評価を得られている。 |
| 改善方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、報告・連絡・相談を徹底し一人で問題や課題を抱え込まない職場風土づくりに努める。 ・研修旅費を教科や分掌に割り当て、研修の機会を確保する。 | |
| 公表方法 | <p>保護者・地域に向けて、自己評価及び学校関係者評価をWebページに掲載する。</p> | |

3 添付資料 令和7年度自己評価および学校関係者評価書